

広域的に統合施策を検討する フューチャー・デザイン ワークショップ

吹田市 環境部 次長 楠本直樹

目的

- 1 職員の研修(研鑽・教育)
FDを経験し、俯瞰的な視野
- 2 自治体間の連携の強化
コミュニケーションの向上
- 3 大阪大学との連携・調査・研究
- 4 FDWSからの結果の施策



2060年を見据えた 「カーボンニュートラルと防災の統合的施策」



メンバーなど

- ・ 西宮市(N) 尼崎市(A) 豊中市(T) 吹田市(S)
環境省 近畿地方環境事務所
経済産業省 近畿経済産業局 計20名
- ・ 部局:環境・危機管理・都市計画・公園・
水道・経済部局
- ・ 3チーム
ファシリテーター1名 + 5名程度

スケジュール等

回	日時	内容	場所
1	6月24日	・2060年の社会像の検討 ・カーボンニュートラルと防災の統合的施策の検討	吹田市
2	7月16日	・統合的施策実現のための議論 ・NATS等の連携あり様の議論	吹田市
3	7月30日	・ <u>将来世代の視点から</u> 2060年の社会像の検討 ・カーボンニュートラルと防災の統合的施策の検討	大阪大学
4	9月3日	・ <u>将来世代の視点から</u> 統合的施策実現のための議論 ・NATS等の連携のあり様	西宮市
5	9月26日	・ワークショップの振り返り ・NATS等の今後のあるべき姿	吹田市

WSのルール

1 寛容

他人の意見を否定しない

2 礼節

話しすぎない、意見を押し付けない

3 努力

端的にまとめて、できるだけ発言してください

楽しんでください

2030年までにNATSなどの自治体間連携で実現すべき施策の選択

- ボーダレス防災
- フューチャー・デザイン教育
- CNの防災拠点
- 再生可能エネルギーの電力融通
- NATS災害対策基金の設立
- NATS内でEVバスの活用

仮想将来世代視点の特徴

- ・広い視点や中長期的な視点の考え方
- ・枠組みにとらわれない自由な考え方
- ・前向きな考え方
- ・到達すべき目標から逆算した考え方
- ・時間のかかるものから取り組む考え方
- ・教育が重要とする考え方

ご清聴ありがとうございました

吹田市 環境部

env-planning@city.suita.osaka.jp